

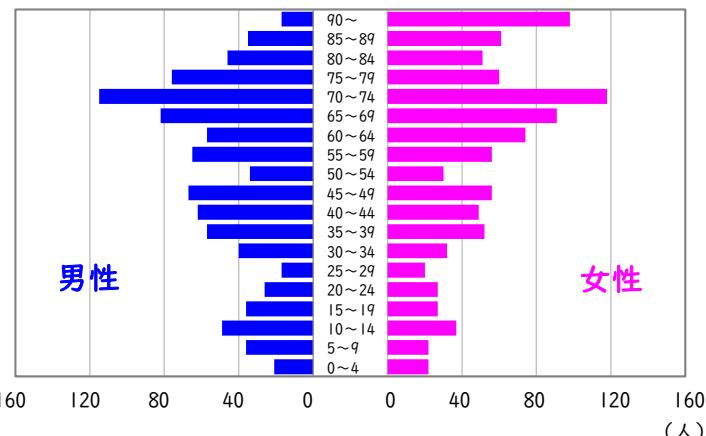
# 保倉区



人口	1,921人
うち外国人	13人
世帯数	762世帯
高齢化率	44.2%

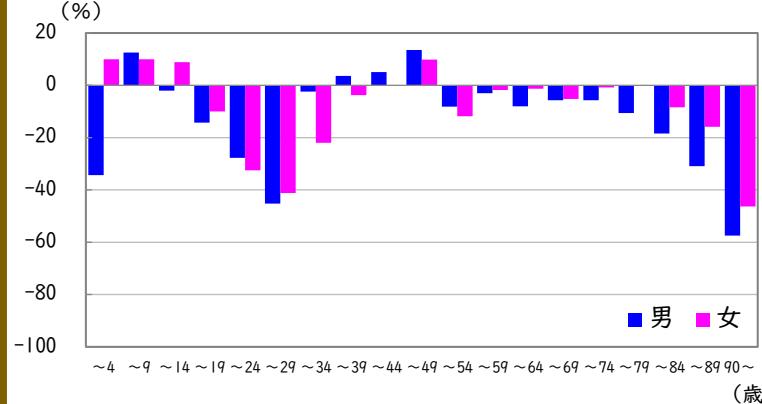
※2024年4月末時点の住民基本台帳人口

男女年齢別人口



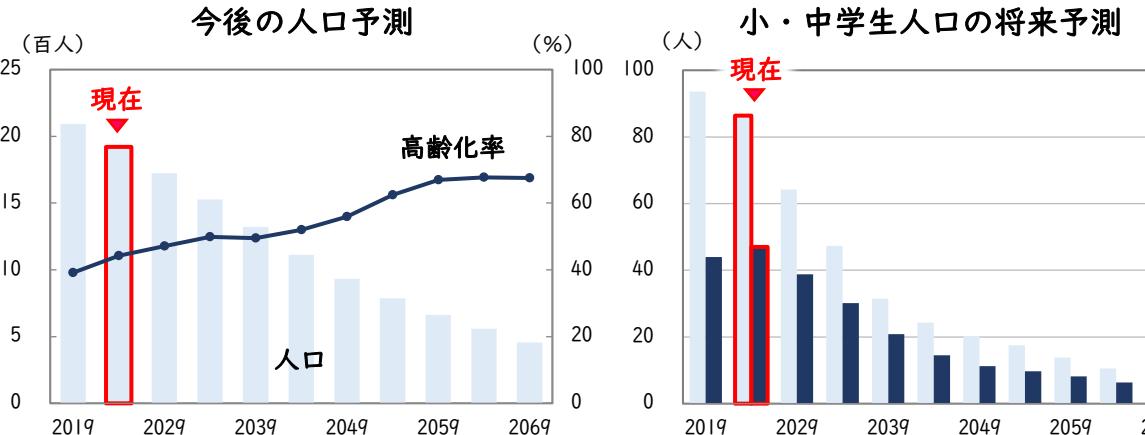
コードホート変化率

(各年齢層別 5年間変化率、2019~2024年)



## シナリオ①：現行推移

このままのペースで増減が続いたらどうなるか。



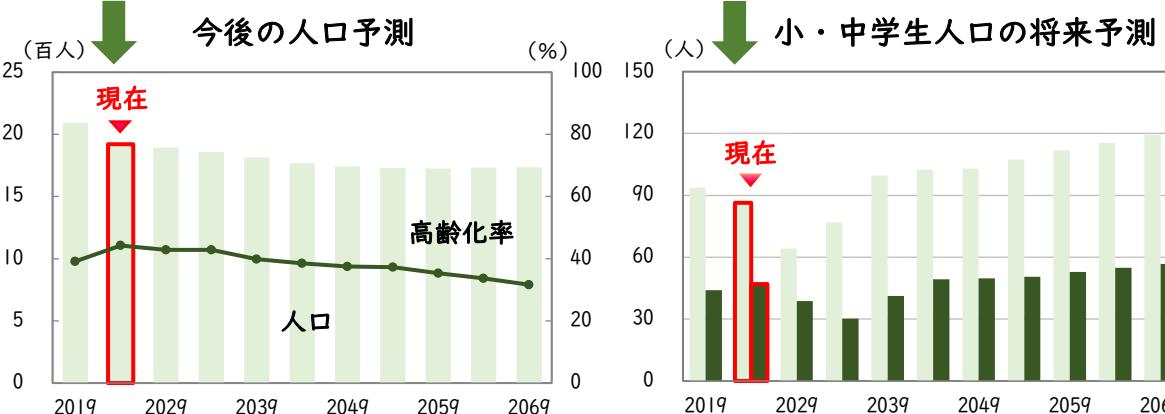
## シナリオ②：組み合わせ最適モデル

定住促進に取り組み、毎年、以下の目標が達成できたらどうなるか。

出生 合計特殊出生率 1.31 ▶ 1.68

移住 30歳代前半夫婦が4歳以下の子ども1人を連れてU・Iターン 3.8 世帯移住  
20代前半夫婦がU・Iターン 3.8 世帯移住  
60代前半夫婦（定年退職者）がU・Iターン 3.8 世帯移住

定住 男性 10代後半から20代前半の流出率を 28% から 14% に改善  
女性 10代後半から20代前半の流出率を 33% から 16% に改善

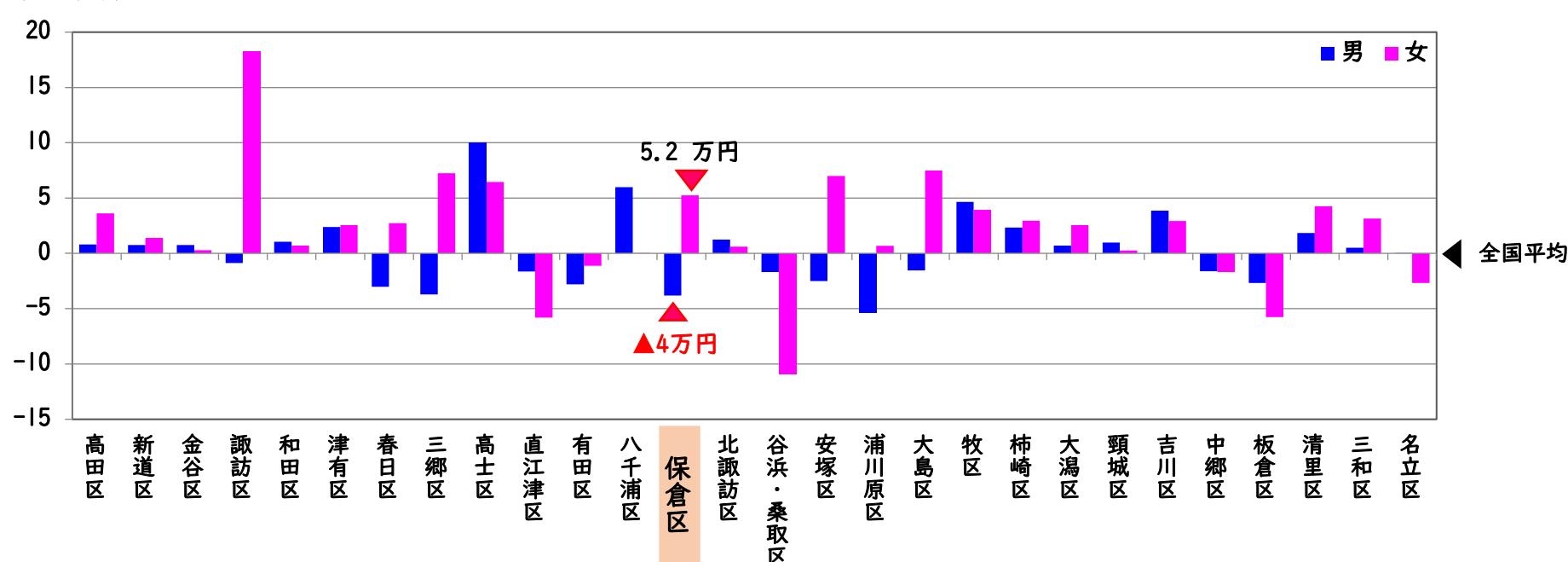


## 介護分析：各地域自治区と全国の平均的介護費用の比較（28区別）

被保険者1人当たりの年間の介護費用を地区ごとに全国の平均的介護費用と比較してみます。

※地域での暮らしが高齢者の健康度に及ぼす影響を調べるために、特別養護老人ホームに入所している人は前住所地で分析を行っています。

(万円/年)



男性：保倉区は全国平均より

女性：保倉区は全国平均より

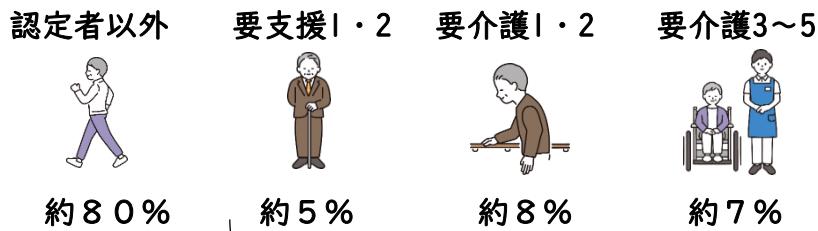
抑制（介護費用が少ない）

高額（介護費用が多い）

# 介護分析：保倉区の「お達者度」（介護認定の状況）

## 保倉区の65歳以上の介護認定の状況

小 介護サービス必要量の度合い 大



保倉区の高齢者のうちの約20%が介護認定を受けています。

### 概要

## 保倉区は、全国平均と比較してどんな地域？

- 認定率 男性 高め (80代後半、90代～)  
女性 高め (80代後半)

全国平均と比較して、程度は様々だが、介護や支援を必要とする方が男性、女性ともに多い地域である。

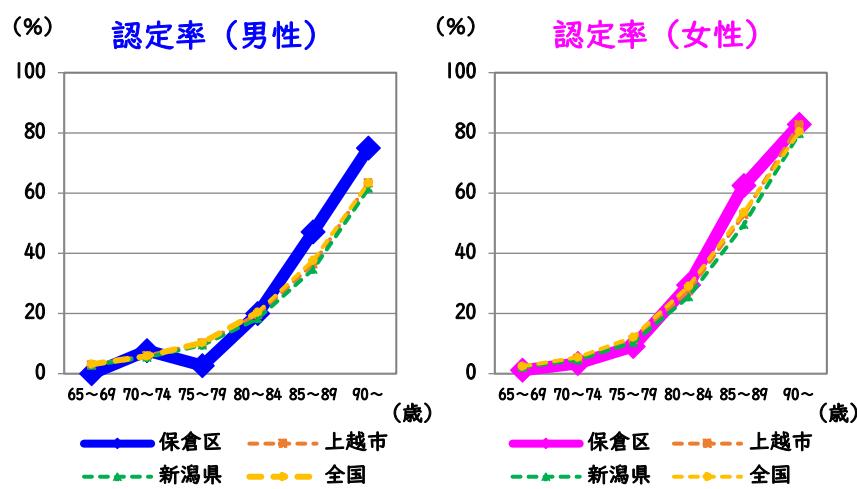
- 認定者の平均介護度 男性 低め (特に80代前半)  
女性 高め (60代後半、80代前半)

全国平均と比較して、程度は様々だが、男性は介護認定を受けるとその度合いが低い方が多く、女性は高めの方が多い地域

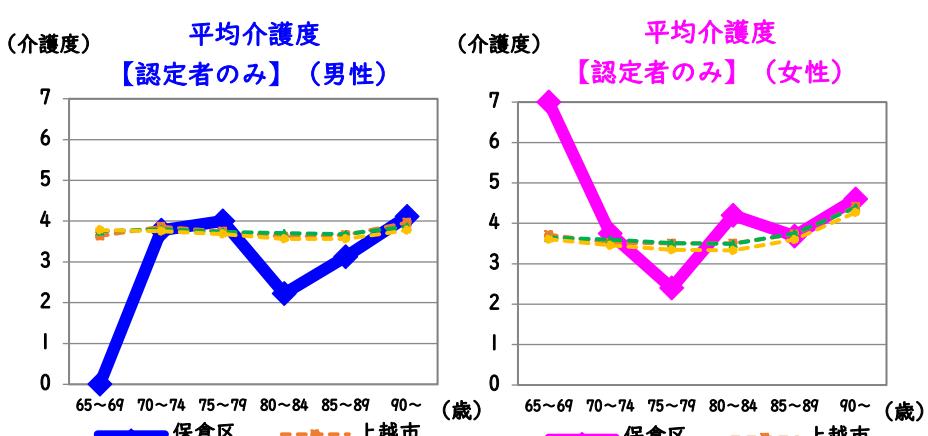
（「低め」は「一人当たりの介護度が小さい」、「高め」は「一人当たりの介護度が大きい」という見方もできる）

### 結論

#### (1) 年齢階層別の介護認定率



#### (2) 年齢階層別の平均介護度



※平均介護度は要支援1=1、要支援2=2、要介護1=3…要介護5=7とした場合の平均値

## 地元関係図（保倉区で活動する組織の一覧）

### 地元関係図（保倉区で活動する組織の一覧）

